

第一回 デイサービスまつなみ運営推進会議議事録

日時：平成 28 年 9 月 17 日（土）10：00～10：30

場所：デイサービスまつなみ

出席者：ご利用者代表 1 名 ご利用者ご家族代表 1 名 茅ヶ崎市高齢福祉介護課職員 1 名
 富士見町自治会長 1 名 地域包括支援センターさざなみ職員 1 名
欠席者：福祉有識者 1 名

1. 開会の挨拶

〈管理者〉これより特定非営利活動法人介護の会まつなみ デイサービスまつなみ 第 1 回運営推進会議を開催いたします。

2. 運営推進会議について

〈管理者〉運営推進会議についてご説明いたします。

介護保険法の改正に伴い、18 人以下の通所介護事業所は、各市町村の指定地域密着型通所介護事業所となります。事業の透明化、地域と連携のとれた施設、地域に開かれたサービスをすることでサービスの質向上を図ることを目指し、各事業所が自ら設置するものです。

ご利用者、ご利用者家族、地域住民の代表者、市の職員、地域包括支援センター職員、有識者により構成された協議会を『運営推進会議』と呼び、概ね 6 カ月に一度以上、開催いたします。運営推進会議では、事業所より活動報告を行い、ご出席いただいた皆さんからは評価、要望、助言をいただく意見交換を行います。それを記録作成し、HP などで公表致します。

3. ご出席者のご紹介

管理者が ご利用者代表、ご利用者ご家族代表、高齢福祉介護課職員、地域代表富士見町自治会長、地域包括支援センター職員 を順番にご紹介。

4. 法人・事業所紹介

5. 活動報告

管理者がプロジェクターにて報告。

6. 意見交換

〈管理者〉 日頃デイサービスまつなみ をご利用されていかがですか。

〈ご利用者〉 満足しています。初めは不安でしたが手厚い介護で家にいるより安心です。

家では手伝って欲しい時に誰もいない時があるので困る事があります。でもまつなみさんにいるといろいろと手伝っていただき助かります。

まつなみさんの移転の際には、（目が不自由な為）せっかく覚えた部屋の間取りをまた一から覚えなければならない事にとても不安を感じました。でも職員の方々に付き添っていただき、トイレの場所など日々教えていただくことによって不安はすぐに解消されました。今では自分一人でトイレ

へ向かうことができます。

〈ご利用者家族〉

母は今まで人とあまり関わりをもたないでいたので、色々な方たちと交流できて良かったと思っています。歳を取ってからこんなに楽しい経験ができるなんて嬉しい、と家でも言っています。保険外の伊勢神宮には私が連れて行こうと思っていましたが、一緒に旅行することによって色々指示をし、怒る事も多くなってしまい、お互い嫌な思いをしてしまうのではないかと考えていました。丁度その時、外出支援のお話を伺い是非連れて行っていただきたいと思い申し込みました。結果、本人の好きなようにさせていただき本当に良い旅行になり良かったです。

〈包括さざなみ〉

茅ヶ崎市の中で長く活動されていて、存在感もあり安定した事業をされています。保険外活動も活発に行っていらっしゃるので今後も長く続けていただきたいと思います。

〈自治会長〉 (自治会の)防災訓練にご参加いただきありがとうございます。

自治会としても、こちら(デイサービスまつなみ)がどのような活動をしているのか、何人くらいの方が利用しているのか把握しておきたいと思っていました。

〈管理者〉 月曜から金曜の10時から16時の営業です。定員は10名です。

〈自治会長〉 災害時などの際、自治会はこちら(デイサービスまつなみ)に協力した方が良いのか、それとも職員の方たちで間に合うので後回しにしても大丈夫なのか、気になっていたところでした。何曜日に何人の利用があるのか、自治会でも把握しておけば災害時会長から関係者へ報告する事ができます。何かあった時に自治会に声を掛けてもらえれば、役員も駆けつけることができると思います。この(施設の)上の方にある公園に防災倉庫もあるので何らかの協力はできます。

〈管理者〉 介護保険法では敷地外に出てはいけない事になっているので、敷地内で避難訓練を行いました。ご利用者には口頭で、津波の時はここから見える茅ヶ崎ファームの屋上へ避難する、と伝えています。しかし現状では、ここから見えていても、距離があるので避難は難しいと思っています。敷地内の避難訓練でも時間はかかっているので、避難せず施設内に留まり、救助を待つ方が安全なのではないか、と考えています。更に、入浴中の災害時についても検討が必要です。

〈福祉介護課〉

市内の通所介護施設で地域密着型は、平成28年4月の時点で48事業所あります。

こちら(デイサービスまつなみ)では、保険外の活動や『にやりホット』『日めくりカレンダー』などの独自の活動で積極的に取り組まれていらっしゃる事が分かりました。

岩手の災害についても最近話し合われていて、やはり常日頃からの訓練が大事という結論にいたりしました。職員の方の対応が可能になるように訓練は是非続けていただきたいと思います。来年1月1日より厚生労働法の改正により、各市町村の独自基準でより密に訓練を行う、としています。各事業所の訓練に地域の方が参加する、又はその逆で地域の訓練に事業所の方が参加する、といった積極的な取り組みを是非行っていただきたいと思います。後者は先ほどのお話の中でもあったように参加されている、ということなので良いと思います。

〈管理者〉 同敷地内に日中一時支援の事業所が併設されています。

昼間静かな生活に慣れておられるご利用者からは、子どもの声がうるさい、などの苦情がありました。特に夏は、平均年齢 87 歳の身体に、昼寝が必要な方もいらっしゃり、昼寝の時間と子ども達が賑やかになる時間が重なり、「眠れない」といった声が多く聞かれました。この対策として、ご利用者のお昼寝の時間帯には、子ども達に外出してもらう、など活動時間をずらし、行動をとるようにしています。

一方で、日頃子どもと関わりがないので（子どもの）声を聞くのが新鮮で良い、「ただいま」と声を掛けられることが嬉しい、という声も聞かれます。

〈福祉介護課〉

市内でも敷地内に日中一時支援の施設を併設している所もあり、『富山型』（年齢や障害の有無にかかわらず誰もが一緒に身近な地域でデイサービスを受けられる場所）の活動に相乗効果がある、という報告を受けております。ですから、色々な方がいらっしゃるとは思いますが、効果がある、という事実もあるので、今後も交流は続けていきたいと思っております。

〈管理者〉 デイサービスまつなみ では、今後も皆さんに『プラスαのサービス』を提供できるよう、より良いサービスを継続していきたいと思っております。

- ・ 次回デイサービスまつなみ運営推進会議開催は平成 29 年 2 月末頃を予定